

知・技

3 洗濯機による洗濯の流れについてまとめてみよう。

1 準備する

●点検

①(**ポケット**)の中に入れっぱなしのものはないか、②(**ボタン**)のゆるみやほころびなどはないかを見る。

●表示の確認

組成表示と③(**取り扱い表示**)を見て、洗濯に適した方法・条件を確認する。

●仕分け

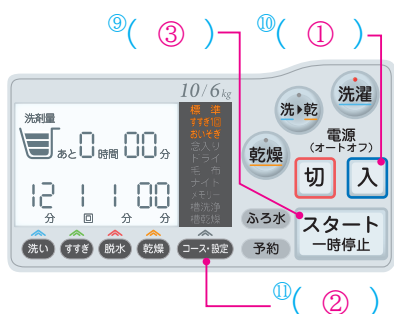
色落ちしそうなものは別洗いにする。

汚れのひどいものやしみのあるものは、あらかじめ④(**部分洗い**)をしておく。

型崩れしやすいものは⑤(**洗濯用ネット**)に入れる。

●洗剤を選ぶ 必要に応じて⑥(**柔軟剤**)や漂白剤を使用する。

2 洗う 下の図の()に操作の順番①～③を書こう。



①洗濯物を洗濯機に入れ、電源を入れる。

②コースを選ぶ。

③スタートボタンを押す。

④表示に従って⑦(**洗剤**)を計量して入れる。

⑤ふたを閉めると、自動的に「洗い」
「⑧(**すすぎ**)」「**脱水**」が行われる。

⑥約40分ほどで終了する。

3 乾燥させる

●**取り扱い表示**を確認して、⑫(**自然乾燥**)または乾燥機で乾かす。乾燥機を使用する場合は⑬(**温度**)に注意する。



深めよう

思・判・表

どうしてこうなったのか、洗濯の失敗の原因を考えてみよう。

①白いTシャツが赤くなっていた。



失敗の原因

(例) 色落ちしそうなものと別洗いしていなかったから。

②汚れが落ちていなかった。



失敗の原因

(例) 洗濯の前にあらかじめ部分洗いをしていなかったから。

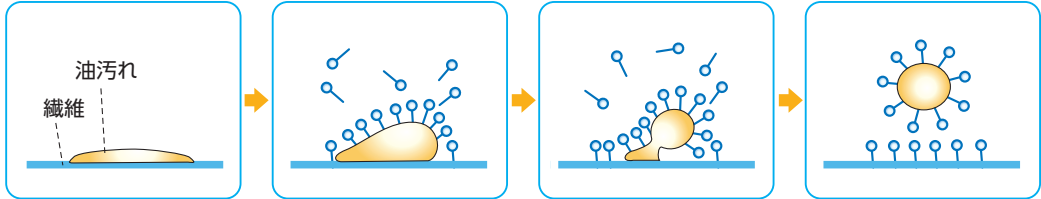
4 洗剤についてまとめてみよう。

(1) 洗剤の主成分である、①(**界面活性剤**)は、②(**水**)に溶けない汚れを繊維から引き離す働きをする。



(2) 下の図を見ながら、洗剤によって汚れが落ちる様子の順に、ア～エの文を並べてみよう。

(**ウ** → **ア** → **エ** → **イ**)



ア ①が繊維や汚れの表面に集まる。

イ ①が繊維や汚れの表面をおおい、再びくっつくのを防ぐ。

ウ 繊維についた油汚れ。

エ 汚れを繊維から引き離す。

(3) おもな洗濯用洗剤の種類と特徴をまとめてみよう。

分類	合成洗剤		せっけん
液性	①(弱アルカリ) 性	②(中) 性	弱アルカリ性
界面活性剤の原料	③(石油) または天然油脂		天然油脂
特徴	汚れ落ちが④(よい)。	汚れ落ちはやや劣るが衣服を傷めにくい。	汚れ落ちが⑥(よい)。 水温が低いと⑦(溶けにくい)。
用途 (適した繊維)	綿、化学繊維など	⑤(羊毛) など	綿、化学繊維など

(4) 洗濯用洗剤の表示を調べてみよう。

液体洗剤の表示例

つめかえた後は、ボトルの表示をよく読んでお使いください。			
品名	洗濯用合成洗剤		
用途	毛・絹・綿・麻・合成繊維用		
液性	中性	正味量	400 ml
成分	界面活性剤 [21%、ポリオキシエチレンアルキルエーテル]、安定化剤		
使用量の目安	一般の洗たく機：水30Lに40ml ドラム式洗たく機：衣料1.5kgに40ml 手洗い：水4Lに10ml		
株式会社	[使用上の注意] ●用途外に使わない。●子供の手の届く所に置かない。●認知症の方などの誤飲を防ぐため、置き場所に注意する。●荒れ性の方や原液で使用する時は炊事用手袋を使う。●洗たく機のフタなどのプラスチック部分についた時はすぐに水でふきとる。放置すると傷むことがある。		
お問合せ先 ☎0120-	[応急処置] ●目に入った時は、こすらずただちに流水で15分以上洗い流し、必ず眼科医に受診する。●飲み込んだ時は、吐かずに口をすすぎ、水を飲むなどの処置をする。		

①品名 (例) 洗濯用合成洗剤

②用途 毛・絹・綿・麻・

合成繊維用

③液性 中性

④使用量の目安 (一般の洗濯機)

水30Lに40mL



衣類を補修するとき、傷んだり、穴が空いたりした部分に、ししゅうのように飾りをデザインする「ダーニング」という手芸の方法があります。

知・技

5 着るたびに洗濯^{せんたく}をしない衣服の日常の手入れについてまとめてみよう。



①(ハンガー)にかける。着用中についた湿気や②(におい)をとる。



ブラシをかける。ほこりや③(花粉)などを取り除く。布のけばを整える。

知・技

6 アイロンかけについてまとめてみよう。

1 準備

①(とりあつか^とい^り表示)でアイロンの適温を確認する。

2 温度目盛の調節

温度を設定して、適温になったらかける。

3 アイロンかけ

面積の②(小さい)部分からかけ始める。

4 後かたづけ

使用後はスイッチを③(切り), 電源プラグを抜く。

高温
200℃まで

中温
150℃まで

低温
110℃まで

知・技

7 衣服の収納方法の工夫について、これから自分で工夫しようと思うことを書いてみよう。

(例) しわや型くずれに気をつけてしまう。
立ててしまうようにし、取り出しやすくする。

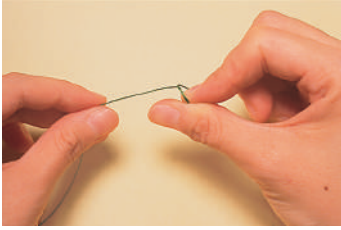


たたみ方やしまい方で工夫する点はないかな？

Note

知・技

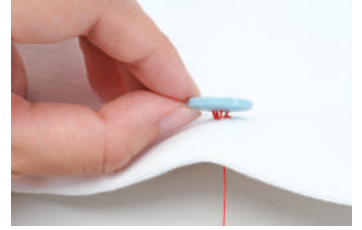
8 補修の技術についてまとめてみよう。



(1) 縫い始めるときに、布から糸が抜けないように、糸のはしに結び目を作っておくことを、(玉結び) という。

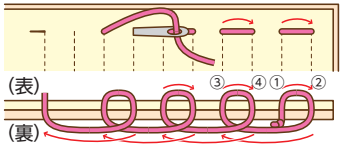


(2) 縫い終わりに、縫い目がほつれてしまわないように、結び目を作っておくことを、(玉どめ) という。

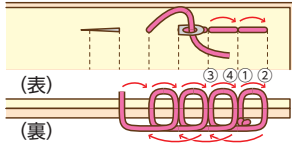


(3) ボタンをつけるときは、①(布) の厚きの分を考えて、糸によゆうを持たせるようにする。このよゆう分を②(糸足) という。

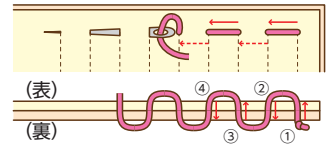
(4) 下の縫い方の名前を答えよう。



①(半返し縫い)

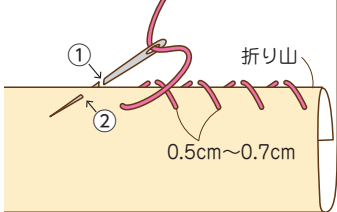


②(本返し縫い)



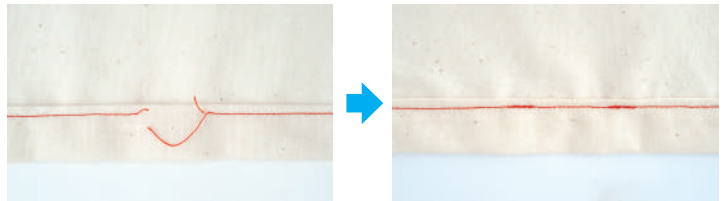
③(並縫い)

(5) まつり縫い



なるべく(表)側に縫い目が見えないようにする。

(6) ほころび直し (ミシン縫いの場合)



ほつれていない部分と少し(重ねて)縫う。

(7) スナップをつけるときは、着たときに上側になる方に (A ・ B) をつける。

A



B



ふり返る

A: できた B: まあまあ C: もう少し

知・技

●衣服の材料や状態に合わせた手入れの方法を理解できましたか。

(A ・ B ・ C)

知・技

●衣服の材料や状態に応じた洗濯や補修などができましたか。

(A ・ B ・ C)

豆知識

木綿や麻の布は、紅茶を使って染めることができます。布を糸でしばることで、様々な模様を作ることが可能です。

1 布を使ってつくってみよう

見つける

態度

布を使ったものづくりについて、小学校で製作したものを思い出してみよう。

- ①小学校で製作したもの (例) エプロン、ランチョンマット、トートバッグ
- ②製作したものをを使った感想 (例) 自分で作ったものなので、より大切に使おうという気持ちになった。

めあて

製作に必要な材料や道具を安全で効率的に使うことができる。

生活を豊かにするものを考え、製作の計画を立てることができる。

学ぶ

知・技

1 製作の手順についてまとめてみよう。

1 ①(計画)を立てる	<ul style="list-style-type: none"> ●②(目的)に合わせてつくるものを決める。 ●つくり方や③(手順)の確認をする。 	
2 準備する	道具や材料の準備 ④(採寸) <ul style="list-style-type: none"> ●つくるものの大きさをはかる。 ●必要な布地を見積もる。 型紙の準備	
3 製作する	⑤(裁断)・しるしつけ 縫う 仕上げ 後かたづけ	
4 ⑥(活用)する	<ul style="list-style-type: none"> ●⑦(使い心地)を確かめる。 	
5 ⑧(評価)する	<ul style="list-style-type: none"> ●⑨(計画)どおりに製作ができたか。 ●満足のいく仕上がりだったか。 	

知・技

2 製作に使うおもな道具の名前を書いてみよう。

●大きさをはかる（採寸する）

●裁断・しるしつけ

●縫う



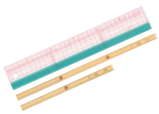
①（巻き尺）
（メジャー）



③（糸切りばさみ）



⑥（まち針）



②（ものさし）



④（チャコ）



⑦（指ぬき）



⑤（ルレット）



⑧（ミシン糸）



●仕上げなど

⑨（アイロン）



●その他

⑩（リッパー）

知・技

3 製作中の注意点をまとめてみよう。



●①（針）を使い始める前と
あとに、本数を確認する。

●針を扱うときは、隣の人の
②（間隔）を開ける。

●針先は③（下）に向ける。



●④（作業中）の人には
さわらない。

●糸くずや⑤（布）の切れ端
などを散らかさない。

●作業が終わったら、ミシン
やアイロンの電源を必ず
⑥（切る）。



知・技

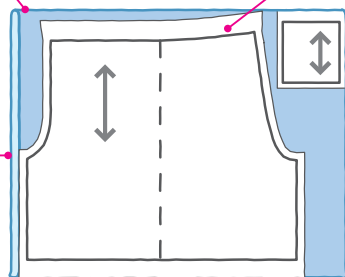
4 型紙についてまとめてみよう。

●①（わ）

2枚重ねにした
折り山の部分

●②（みみ）

ぬのはば りょうたん
布幅の両端



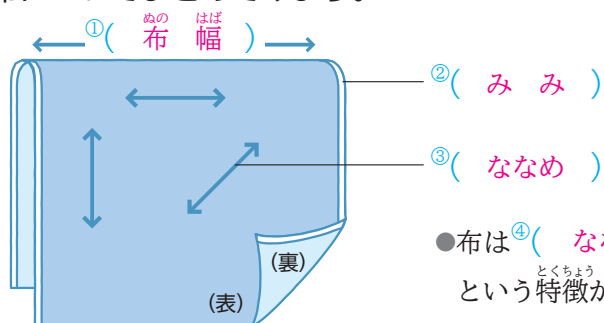
●型紙には、できあがりの
大きさそのままのものと、
できあがりの大きさに
③（縫いしろ）分をつけた
ものがある。



切れ味がにぶくなってしまったはさみは、アルミホイルを切ると、切ったときのまざつでアルミがはさみにくつき、欠けた部分を補ってくれます。

知・技

5 布についてまとめてみよう。



●布は④(^なな ^めめ)方向に引っばるとのびやすいという特徴がある。

知・技

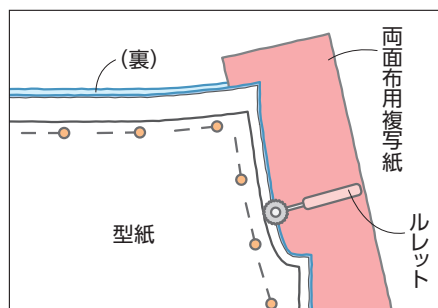
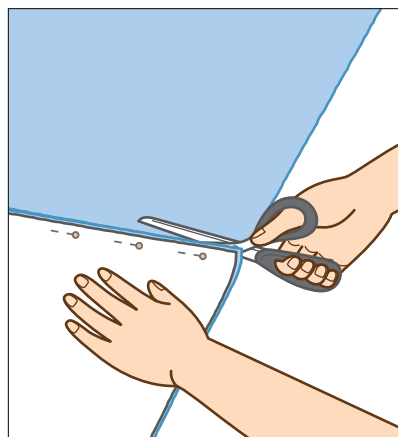
6 裁断としるしについてまとめてみよう。

●できあがり線のまわりには必ず①(^{ぬい}縫いしろ)をつけ、それにそってはさみで切っていく。

●裁ちばさみを使うときは、②(^た平 ^らら)な場所で、布をなるべく持ち上げないようにする。はさみの下側の刃先を③(^は台)につけて切るとよい。

●はさみを手渡すときは、④(^て刃 ^{わた}先)を渡す相手に向けないようにする。

●しるしは、布の⑤(^裏裏)面につける。布用複写紙を使うときは、⑥(^ルレット)を使う。

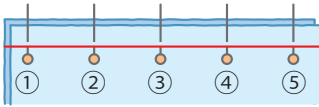


Note

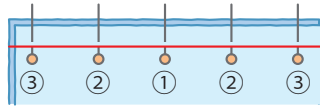
知・技

7 まち針のとめ方をまとめてみよう。

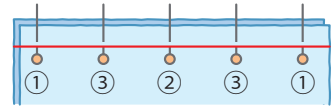
- (1) 針を刺す方向は、できあがりの線に対して (直 角) にとめる。
- (2) すくう布はなるべく (少 な) くする。
- (3) まち針のとめ方で、正しいものに○をつけよう。



ア：左はしから右へ
()



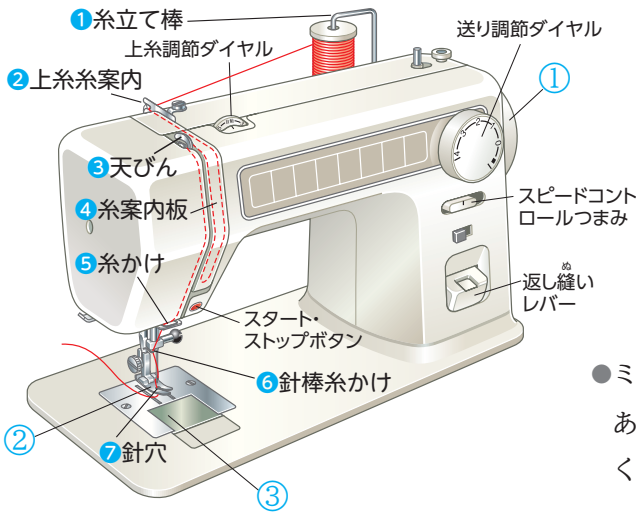
イ：中央から外側へ
()



ウ：外→中央→その中間
(○)

知・技

8 ミシンについてまとめてみよう。



●ミシンの各部の名前を書こう。

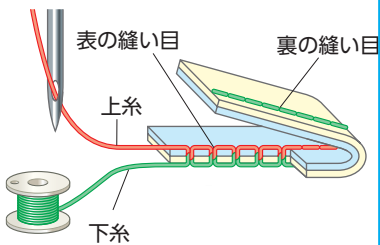
- ① (はずみ車)
- ② (押さえ)
- ③ (角板)

①～⑦を、上糸をかける順番に並べよう。

- ④ (① → ② → ④ → ③ → ⑤ → ⑥ → ⑦)

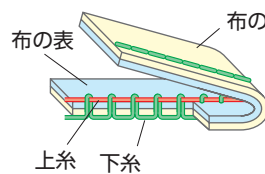
●ミシンをかける前に、⑤ (しつけ糸) であらく仮縫いをしておくと、布地がずれにくくなる。

上糸・下糸の正しい調子



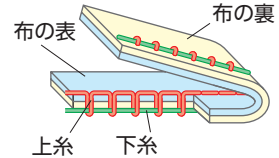
上糸と下糸の強さがつり合っている状態。

上糸の調子が強いとき



上糸調節装置のダイヤルを⑥ (左) に回して上糸の調子を弱くする。

上糸の調子が弱いとき



上糸調節装置のダイヤルを⑦ (右) に回して上糸の調子を強くする。

ふり返る

A: できた B: まあまあ C: もう少し

知・技 ●製作に必要な材料や道具を安全で効率的に使うことができましたか。 (A ・ B ・ C)

知・技 ●生活を豊かにするものを考え、製作の計画を立てることができましたか。 (A ・ B ・ C)

①題材名

②おもな材料、道具

③目標

④完成図

⑤作業の記録

学習日	作業内容	反省

⑥全体の評価・反省・感想

⑦家族から

●自己評価しよう ～ABCを書き入れよう～

- ①計画通りに製作することができましたか。()
- ②安全に気をつけて取り組むことができましたか。()
- ③完成した作品には満足しましたか。()

先生より

①題材名

②おもな材料、道具

③目標

④完成図

⑤作業の記録

学習日	作業内容	反 省

⑥全体の評価・反省・感想

⑦家族から

●自己評価しよう ～ABCを書き入れよう～

- ①計画通りに製作することができましたか。()
- ②安全に気をつけて取り組むことができましたか。()
- ③完成した作品には満足しましたか。()

先生より

学びを生かそう

学習日 /	名前
組 番	

課題 ●自分や家族の生活を見つめ直し、発見した問題点をもとに課題を設定しよう。

私の課題

設定した理由

計画 ●課題を解決するために必要な計画を立て、準備しよう。

実践 ●^{じっせん}実践したことを記録してみよう。(計画を発表したときのことを書いてもよい。)

評価・改善 ●実践したことのよい点や改善点をまとめてみよう。

次の課題へ ●改善点をふまえて次の課題を考え、今後の生活に生かそう。

NOTE 

Lined area for notes, consisting of multiple horizontal blue lines.